

世界に翔く宮崎牛

——発行所——
宮崎県肉用牛協会
0985-24-2674
社団法人 宮崎県畜産会
No.14

1996年 3 月号



・牛の丸焼きが大好評！串間市産業まつり（左上）
・宮崎県肉用牛協会による畜産功労者表彰！（左下）



・黒木松吾さんが宮崎県代表として発表（右上 本文7ページ）
・畜産試験場の美しい桜（右下 宮崎の畜産より）

3 月号目次

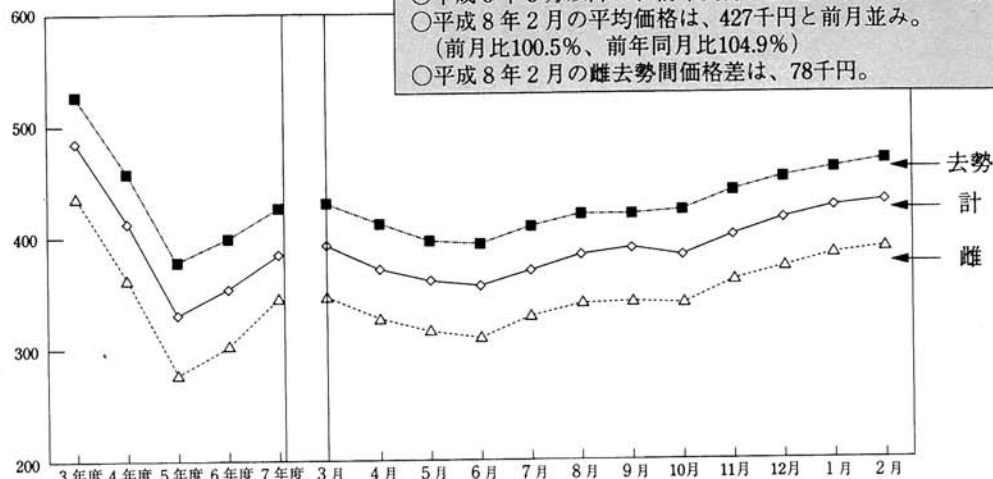
価格情勢	2
事業紹介	3
トピックス	6
技術情報	7
現地情報	7
消費地情報	8

肉用牛産肉能力検定情報	10
牛肉料理紹介	10
宮崎牛指定店紹介	11
おたずねします	11
今後の行事計画	13
一服放談	14

価格情勢

肉用子牛価格の推移（宮崎県：和牛）

単位：千円



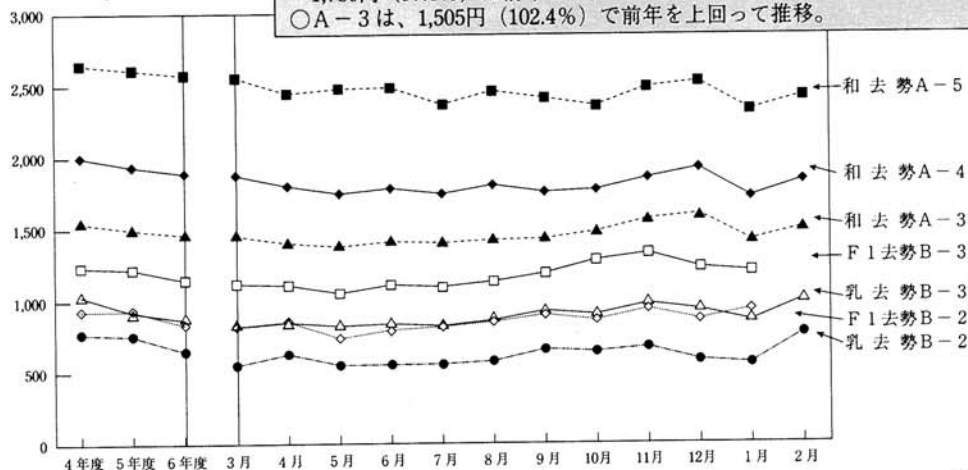
(単位：千円)

区分	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
雌	436	362	277	299	342	346	326	314	303	327	338	339	334	363	372	382	385
去勢	527	458	377	398	424	430	411	395	392	409	418	417	420	441	458	460	463
計	485	413	330	352	385	392	370	357	349	369	380	382	379	403	416	425	427

注) 価格は、消費税込み価格。平成7年度は4月から2月までの平均価格。

品種別規格別牛枝肉卸売価格の推移（東京）

単位：千円/kg



(単位：円)

区分	4年度	5年度	6年度	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
和去勢A-5	2,643	2,612	2,576	2,544	2,467	2,476	2,487	2,374	2,453	2,408	2,352	2,439	2,433	2,314	2,394
和去勢A-4	2,024	1,937	1,899	1,875	1,799	1,754	1,779	1,719	1,800	1,763	1,735	1,813	1,864	1,699	1,780
和去勢A-3	1,547	1,498	1,460	1,454	1,402	1,373	1,412	1,373	1,458	1,458	1,474	1,525	1,542	1,415	1,505
F1去勢B-3	1,234	1,221	1,146	1,131	1,110	1,051	1,107	1,096	1,192	1,261	1,280	1,303	1,241	1,221	
F1去勢B-2	932	933	839	820	847	734	784	821	855	891	851	914	834	904	
乳去勢B-3	1,029	926	867	815	845	822	834	822	862	909	897	942	930	865	1,002
乳去勢B-2	772	756	645	548	625	547	549	557	576	665	640	689	625	587	756

※4年度のF1去勢牛は4年10月以降のものである。

※乳用去勢は4年9月までの交雑種を含む。 ※平成8年2月は速報値。

事業紹介

肉用子牛生産者補給金制度

平成 7 年度保証基準価格及び合理化目標価格

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種
保証基準価格	304,000円	280,000円	204,000円	157,000円
合理化目標価格	267,000円	246,000円	153,000円	114,000円

平均売買価格

区 分	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳 用 種
5 年度				
第 1 四半期	311,400円	193,100円	99,300円	98,400円
第 2 四半期	313,000円	211,300円	132,800円	97,800円
第 3 四半期	319,700円	220,300円	92,800円	98,400円
第 4 四半期	319,900円	213,400円	89,600円	91,500円
6 年度				
第 1 四半期	288,100円	223,100円	116,800円	74,800円
第 2 四半期	303,000円	236,000円	128,500円	62,600円
第 3 四半期	347,800円	259,500円	95,000円	67,800円
第 4 四半期	357,100円	257,600円	108,100円	71,100円
7 年度				
第 1 四半期	328,300円	258,300円	97,300円	97,800円
第 2 四半期	357,700円	284,100円	124,300円	98,300円
第 3 四半期	382,700円	290,400円	147,000円	124,500円

(単位：頭、千円)

生産者補給金交付額

区 分	黒毛和種		褐毛和種		その他の肉専		乳用種		合 計	
	頭数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額	頭数	金 額
平成 3 年度					29	2,302	11,908	288,472	11,937	290,774
平成 4 年度					30	2,615	18,105	904,361	18,135	906,976
平成 5 年度			32	2,169			21,933	1,399,227	21,965	1,401,396
平成 6 年度	39,706	349,045	26	892			21,681	1,890,186	61,413	2,240,123
平成 7 年度	0	0	6	130	0	0	12,420	615,921	12,426	616,051
合 計	39,706	349,045	64	3,191	59	4,917	86,047	5,098,167	125,876	5,455,320

注) 平成 6 年度及び平成 7 年度 (第 1～第 3 四半期) は概算

子牛生産拡大奨励事業

事業の実施状況 (発動状況)

年 度	4 年度				5 年度				6 年度				7 年度			
四半期	第 1	第 2	第 3	第 4	第 1	第 2	第 3	第 4	第 1	第 2	第 3	第 4	第 1	第 2	第 3	第 4
拡大奨励金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
黒毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
褐毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
生産奨励金	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×
黒毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
褐毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

本県の交付実績

年 度	交付頭数(頭)	交付金額(千円)
3 年度	0	0
4 年度	0	0
5 年度	60,124 (拡大 25,820 生産 34,304)	1,340,388 722,936 617,452
6 年度	53,691 (拡大 20,481 生産 33,210)	1,620,051 730,743 889,308
7 年度	15,385 (拡大 5,561 生産 9,824)	382,911 166,825 216,086

※平成 7 年度は第 3 四半期まで

肉用牛肥育経営安定緊急対策事業

事業の実施状況 (発動状況)

年 度	3 年度				4 年度				5 年度				6 年度				7 年度			
四 半 期	第 1	第 2	第 3	第 4	第 1	第 2	第 3	第 4	第 1	第 2	第 3	第 4	第 1	第 2	第 3	第 4	第 1	第 2	第 3	第 4
乳用種	緊急	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	①	①	×	×	×	×
肉専用種	緊急	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	③	②	①	×	①	×	×	×

※○内の数字は発動段階で肉専用種は①で 1 万円、②は 2 万円、③は 3 万円 (乳用種は肉専用種の半額)

本県の交付実績

年 度	交付頭数(頭)	交付金額(千円)
2 年度	7,388	59,026
3 年度	16,557	307,600
4 年度	29,289	502,910
5 年度	33,227	573,290
6 年度	26,521	436,745
7 年度	11,390	91,420

※ 7 年度は第 2 四半期まで

平成 8 年度継続事業（県単事業）

新しい農業をめざす若い中核肉用牛経営体創設事業

1 事業の目的

若い農業者が肉用牛繁殖経営の拡大等を志向する場合に、農協等が施設機械等を整備・貸し付けし、大規模肉用牛経営体の実証展示を行うことにより、21世紀に対応できる中核的肉用牛モデル農家を創設・育成し、新政策に基づく地域農業の展開を図る。

2 事業の内容

- (1) 事業主体 市町村、農協等
- (2) 事業内容
 - 1) 大型肉用牛経営体創設事業
 - ア 施設機械等の整備（補助率1/3以内）

【モデル経営体】

	飼育頭数規模※	モデル数
繁殖経営	繁殖50頭規模	4
	繁殖30頭規模	3
一貫経営	繁殖50頭規模	4
計		11

※飼養頭数規模は、地域の実情を勘案して決定。

イ 家畜導入促進（増頭分に対し定額助成）

2) 技術マニュアル調査作成普及事業

ア 市町村推進事業（補助率1/2以内）

1 市町村当たり200千円×1/2)

イ 農協等推進事業（補助率1/2以内）

1 農協等当たり200千円×1/2)

(3) 事業実施期間

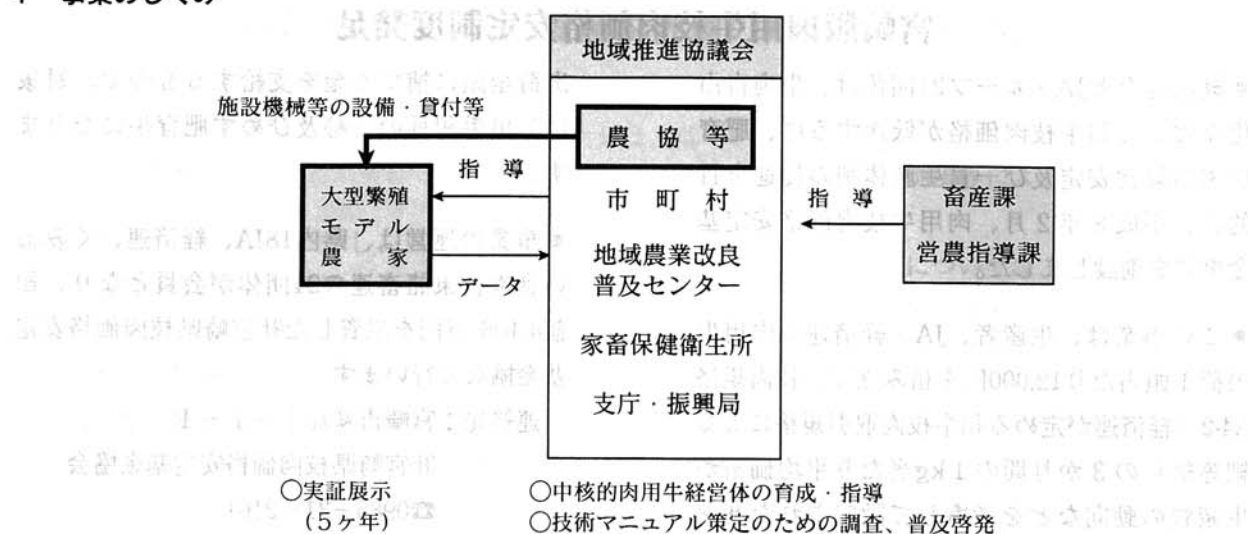
平成 7 年度から平成 9 年度

（1 地区 5 ケ年の実証展示事業）

3 7 年度事業実施状況

振興局 支 庁	実 施 市町村	事業主体	事業対象者 (年齢)	経営形態	施設機械等の整備			面積 (m ²)	事業量
					飼養頭数規模		事業内容		
					(現在)	(計画)			
中 部	田 野 町	田 野 町 農 協	新坂光治 (39)	一貫経営	繁殖10頭 肥育15頭	繁殖30頭 肥育50頭	繁殖肥育牛舎 堆肥舎 農業機械	1244.9 126.0	1棟 1棟 5台
					繁殖70頭 肥育45頭	繁殖105頭 肥育45頭	繁殖牛舎 農業機械	945.0	3棟 1台
北 諸	高 城 町	都 城 農 協	古川重久 (46)	一貫経営	繁殖20頭 肥育10頭	繁殖50頭 肥育10頭	繁殖牛舎 堆肥舎 農業機械	598.5 126.0	2棟 1棟 2台
西 諸	えびの市	えびの市農協	新天寺博 (31)	一貫経営	繁殖60頭 肥育0頭	繁殖150頭 肥育(200)頭	繁殖牛舎 倉庫 農業機械	906.0 126.0	2棟 1棟 1台
児 湯	新 富 町	農事組合法人 (有)アグテック	—	一貫経営	繁殖20頭	繁殖35頭	繁殖牛舎 堆肥舎	384.0 162.0	1棟 1棟
	川 南 町	尾 鈴 農 協	間野雄一 (21)	繁殖経営	繁殖10頭	繁殖30頭	繁殖牛舎	193.1	1棟
東白杵	日 向 市	日 向 農 協	黒木豊喜 (41)	繁殖経営	繁殖10頭	繁殖40頭	繁殖牛舎 堆肥舎 農業機械 パソコン	390.0 50.0	1棟 1棟 1台 1台
	諸 塚 村	日 向 農 協	岩本国和 (44)	繁殖経営	繁殖8頭	繁殖50頭	繁殖牛舎 堆肥舎 農業機械 パソコン	520.0 150.0	1棟 1棟 1台 1台
	椎 葉 村	日 向 農 協	那須隆美 (20)	繁殖経営	繁殖16頭	繁殖30頭	繁殖牛舎 サイロ 農業機械	401.8	1棟 2基 1台
西白杵	高千穂町	高千穂地区農協	林 秋廣 (42)	繁殖経営					
合 計	9 市町村	9 地 区		9 経営体					

4 事業のしくみ



平成 8 年度継続事業（経済連事業）

一貫生産体制実証展示事業

1 事業の目的

経営内一貫生産実証展示農家を設定し、本県肉用牛生産基盤強化と農家の所得向上・安定経営確立を図るとともに、より高品質の銘柄牛生産技術も合わせて確立する。

2 事業の内容

規模拡大や一貫経営への移行を支援するため、次の対策を実施する。

① 畜舎増築対策

畜舎を増築または増改築する場合は、1頭当り50,000円を交付する。

但し、20頭を限度とする。

② 繁殖増頭対策

繁殖牛を増頭する場合は、1頭当り50,000円を交付する。

但し、20頭を限度とする。

③ 新飼料対策

しもふり体系の肥育方式に取り組む場合、肥育牛1頭当り20,000円を交付する。

但し、40頭を限度とする。

3 対象

近い将来規模拡大ならびに一貫経営へと移行する企業的マインドのある農家を対象。

県内3～5戸

4 条件

毎年経営分析の実施。

飼料及び販売に関しては系統全利用。

なお、飼料については、技術的指導上、下記のものを設定する。

○繁殖牛………「しもふりファイバー」

○子牛・育成…「ひとりだち」

○肥育………「しもふり体系」

5 経営内一貫の目標基準

常時飼養頭数：繁殖雌牛50頭以上

肥育牛36頭以上

飼養体系：混合飼料による省力体系

所得：800万円以上／1人

6 事業実施状況

年度	経営者	住所
6年度	笹森義幸	国富町深年5176
	篠原邦光	木城町高城1968-イ
	鈴木孝則	新富町新田15084
	黒木 誠	都農町上菰生
7年度	宮永利克	国富町牧原
	原田道明	高原町広原旭台
	長井幸登	都城市御池町6761-30

宮崎版肉用牛枝肉価格安定制度発足

●経済連などJAグループ21団体は、牛肉自由化などから和牛枝肉価格が低迷する中、肥育農家の経営安定及び一貫生産体制の促進を目的に、平成8年2月、肉用牛枝肉価格安定基金事業を創設しました。

●この事業は、生産者、JA、経済連が肉用牛出荷1頭当たり12,000円を積み立て、枝肉規格A4-2（経済連が定める和牛枝肉取引規格による細等級）の3か月間の1kg当たり平均価格が生産費の動向などを考慮して設定された基準価格を下回った場合、3か月間さかのぼって

出荷全頭に補てん金を支給するもので、対象は、黒毛和種の去勢及びめす肥育牛になります。

●事業の運営は、県内18JA、経済連、くみあい食肉、東諸畜連の21団体が会員となり、総額4,106万円を出資した(社)宮崎県枝肉価格安定基金協会で行います。

連絡先：宮崎市霧島1-1-1

(社)宮崎県枝肉価格安定基金協会

☎0985-31-2101

トピックス

平成8年度宮崎県肉用牛関係予算決まる

平成8年度本県の一般会計当初予算が決まりました。新規事業等は次の通りです。

1 改良対策

優秀種雄牛安定確保対策事業

518,800千円

●肉質能力の優れた優秀種雄牛を安定的に確保するため、宮崎県家畜改良事業団が行う肉用牛の間接検定（肉質能力をチェック）の頭数を現行の7頭から12頭に拡充・強化します。

●遺伝的能力の正確な比較が可能で、かつ、生産者に評価、利用されやすい検定成績が得られる検定方法を確立するため、同一種雄牛の子牛について、現行の検定期間である12カ月間肥育の場合と一般農家で行なわれている20カ月間肥育の場合とで肥育成績の比較検討を行います。

2 経営安定対策

宮崎牛一貫生産促進体制整備事業

87,200千円

「宮崎牛」生産農家の経営安定を図るため、宮崎県肉用牛枝肉価格安定基金協会が行う基金（4等級の枝肉価格が一定額を下回った場

合に価格差を補填）に係る生産者積立金（1頭当たり12千円）に上乗せ助成（県3千円）を行います。

3 新技術対策

家畜体外受精卵地域活用モデル事業

12,788千円

改良増殖の推進と遺伝資源の有効活用を図るため、都城家保が地域協議会との連携を図りつつ、隣接する食肉処理場（くみあい食肉高崎工場）等と畜される優秀雌牛のと体から体外受精卵を生産・提供するとともに、地域技術者等に対し、体外受精卵移植の有用性を啓蒙します。

4 環境対策

良質堆きゅう肥販売体制強化促進事業

20,160千円

良質堆きゅう肥の流通販売体制を強化するため、ブレンド堆きゅう肥の生産や散布作業を含めたセット販売の実証展示、「良質堆きゅう肥生産流通促進協議会」が認定登録した良質堆きゅう肥の総合的なPR、販売促進活動等を行います。

畜舎用地等の固定資産税評価の適正化について

● 畜舎用地等の固定資産税について、平成 9 年に行う次回の評価替えに当たり、自治省より指導が行われました。

● 自治省は、都道府県に対し、以下の項目について、市町村に対し指導するよう通達したところです。

- ① 畜舎、堆肥舎等は、基本的にその用地の地目を「雑種地」とすること（構造、その他からみて一般家屋との均衡上家屋と認定

せざるを得ないものを除く）

- ② 畜舎用地等の評価に当たっては、標準宅地等との利用制限等による格差を反映すること

- ③ 畜舎用地等については、近隣市町村と評価に関する情報交換を十分行い、適正な価格水準の把握に努めること

● これらの対応により、畜舎用地等の固定資産税評価がより適正に行われる見込みです。

技術情報

新しもふりファイバー正式販売開始（平成 8 年 1 月から）

● 従来の「しもふりファイバー」は、原料であるコーンコブの比重が軽いため、バラ飼料における他原料との分離等が発生し易いことから、コーンコブに替えて、コットンシールドハルペレット（綿実殻ペレット）を利用することにし、昨年から試験販売をしてきました。

● 現在まで、採食性、反スウ性等も良好であることから、「新しもふりファイバー」として平成 8 年 1 月から正式販売を開始しました。

● 給与法については本誌 9 月号、各 JA 窓口の

パンフレットを参照して下さい。

ただし、「ファイバーミックス」（粗飼料）、と「新しもふりファイバー」（母牛用混合飼料）を間違えて給与しないよう留意して下さい。



現地情報

たばこ栽培と組合せた肉用牛経営（串間市・黒木氏）

● 串間市の黒木松吾（38才）さんは、肉用牛（17頭）＋たばこ（1.7ha）＋水稻（0.7ha）栽培の複合経営農家です。

● 昭和 49 年、宮崎県農業大学校を卒業と同時に就農し、当時、たばこ水稻を基幹作物とした経営（たばこ 1.1ha＋水稻 1.2ha＋雌牛 2 頭）の中で肉用牛部門を任されました。

● 50 年 2 頭を自己資金で導入したのを始め、近代化資金等で段階的な増頭を図り、52 年には飼養規模を 8 頭に拡大しました。その後、55 年に父が病死し、労働力（妻の 2 人）の関係から無理しない経営に軌道修正を行い、肉用牛を 3 頭減らし、水稻 30 a を減反しました。

● 3 年後、ある程度経営にも自信がついたの

を機会に、また、水稻の減反政策もあり、肉用牛のウエイトを高めることとし、57年南九州畑作営農資金300万円を借入れ、畜舎を増設し、増頭の準備にはいりました。

●60年にたばこ作付面積を拡大するため、雇用労働を導入し、62年には飼料刈取作業を委託し、“合理的経営”を目指すようになりました。

●同年、肉用牛・たばこ・水稻の3本柱で経営構想が確立したのを機に青色申告記帳を開始し、現在にいたっております。

●今後の家族の生活設計として、55才定年退職、退職金3,000万円、年金300万円を考えており、この計画を実現するために、価格保証制度が充実している肉用牛と、価格の安定して

いるたばこ栽培で、農業生産所得1,000万円（所得割合、肉用牛30%、たばこ63%、水稻7%）を維持していきたいと考えています。

経営の特徴

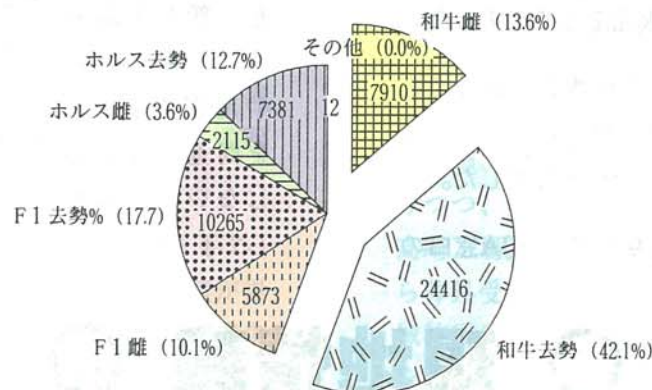
- ① 畜舎の増築は古材等を利用し、機械は耐用年数以上に利用することにより、固定費の軽減を図る。
- ② 自給飼料の確保により現金支出の抑制を図る。
- ③ 母牛の早目の更新（平均年齢6.9才、平均産次4.9産）により繁殖率向上を図る（平均分娩間隔11.5ヶ月）。
- ④ たばこ収穫と乾草収穫の労働力競合をさけるため、生産した飼料は全てサイレージで利用。

消費地情報

平成7年大阪市食肉市場出荷概況

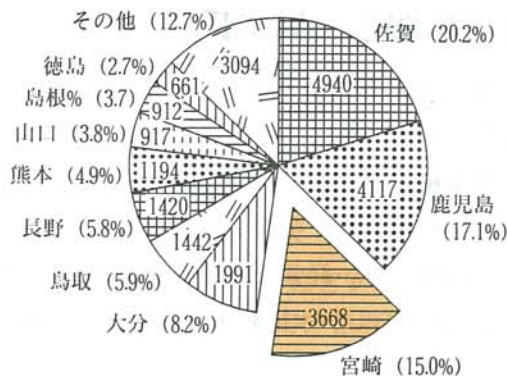
① 種別出荷状況

- 出荷頭数は57,972頭のうち和牛去勢24,416頭（前年比102.7%）、和牛雌7,910頭（前年比119.3%）

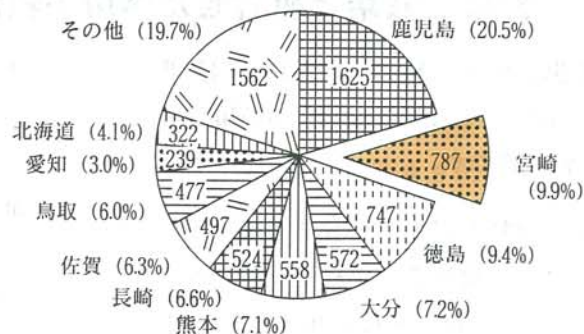


② 県別出荷状況

〔和牛去勢〕



〔和牛雌〕



③ 成績概況

和牛去勢の概況

●宮崎は、枝肉重量、単価、価格とも市場平均を上回っていますが、トップの佐賀とでは単価で200円、価格で95,000円程度及びません。なお、長野・大分は、前年並みで推移。

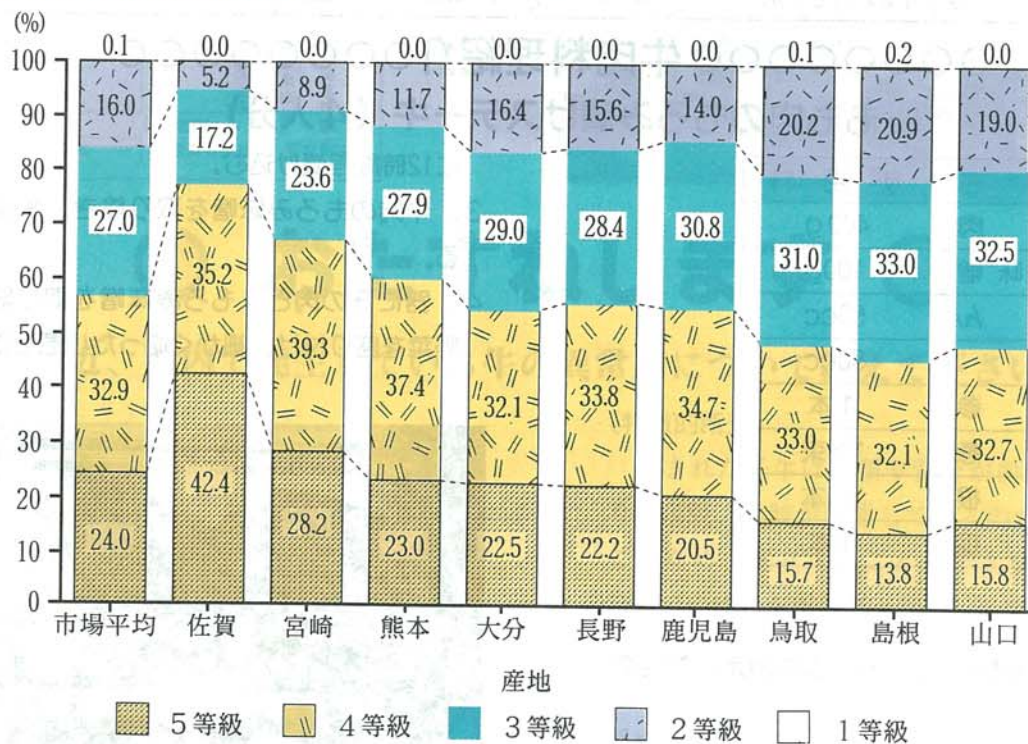
●4等級以上の割合は、市場平均56.9%、佐賀77.6%、宮崎67.5%、熊本60.4%、鹿児島55.2%。

平成 7 年 (1～12月) 各県経済連全農委託分 (大阪市場出荷分)

(単位: 頭、%、kg、円/kg、円)

和牛去勢	頭 数	割 合	重 量	平均対比	単 価	平均対比	価 格	平均対比
佐 賀	4,940	(20.2)	442.5	(101.1)	2,027	(116.3)	896,947	(117.6)
鹿 児 島	4,182	(17.1)	440.6	(100.7)	1,672	(95.9)	736,683	(96.6)
宮 崎	3,401	(13.9)	437.9	(100.1)	1,832	(105.1)	802,232	(105.2)
大 分	1,996	(8.2)	432.9	(98.9)	1,704	(97.8)	737,661	(96.7)
鳥 取	1,196	(4.9)	449.5	(102.7)	1,659	(95.2)	745,720	(97.8)
長 野	1,110	(4.5)	435.5	(99.5)	1,774	(101.8)	772,577	(101.3)
熊 本	921	(3.8)	427.5	(97.7)	1,754	(100.6)	749,835	(98.3)
山 口	917	(3.8)	424.3	(97.0)	1,649	(94.6)	699,670	(91.8)
島 根	880	(3.6)	445.5	(101.8)	1,635	(93.8)	728,392	(95.5)
そ の 他	4,873	(20.0)						
計	24,416	(100.0)	437.5		1,743		762,562	

等級別割合 (大阪市場出荷分)



資料: 宮崎県大阪事務所「宮崎県産肉用牛の出荷頭数・枝肉価格の動向」

〇〇〇〇〇〇〇〇〇産肉能力検定情報〇〇〇〇〇〇〇〇〇

●平成 7 年度第 2 回の直接検定と育成牛の選抜が行なわれ、下表の 4 頭が種雄牛候補として合格しました。このあと間接検定を受検す

る準備期間期間としてさらに暫く育成されます。

●間接検定のための試験交配は平成 8 年度の予定です。

1. 直接検定牛及び育成牛の選抜結果

(単位: kg、cm)

区 分	名 号	血 統		生年月日	産 地	体 重	体 高	D・G	体 型 得 点
		父	母の父						
直接検定牛	糸 忠 福	糸 秀	忠 福	6.12.11	三股町	440	127.2	1.27	82.8
育 成 牛	秀 平 9	糸 秀	第20平茂	6. 9.17	都城市	451	129.2	—	—
	第5隆盛	隆 美	第20平茂	6. 9.15	串間市	538	131.8	—	—
	安 照 6	安 福	菊 照	6. 2.25	畜 試	568	138.6	—	—

2. 間接検定中間成績

(単位: 月、kg)

年 度	検定牛名	父	母の父	産 地	検定終了日	枝肉調査	月令	平均体重	平均DG
H 6	弘 桜	糸 弘 2	第7糸桜	畜 試	H8. 2. 2	H8. 2. 7	19	542.9	0.87
	上 福	谷福土井	菊照土井	兵 庫 県	H8. 3.15	H8. 3.21	18	571.7	0.96
	菊 中	菊照土井	菊照土井	兵 庫 県	H8. 4.12	H8. 4.17	17	533.0	0.99
	安美富士	隆 美	安 福	佐土原町	H8. 5.24	H8. 5.29	16	497.0	1.10
H 7	隆 治	賢 治	隆 美	国 富 町	H8.12. 6	H8.12.11	9	311.4	0.93
	安 美	安 平	安 福	宮 崎 市	H9. 1.10	H9. 1.16	8	270.1	—
	茂 秀	第20平茂	糸 秀	高 原 町	H9. 1.17	H9. 1.22	8	269.2	—

〇〇〇〇〇〇〇〇〇牛肉料理紹介〇〇〇〇〇〇〇〇〇

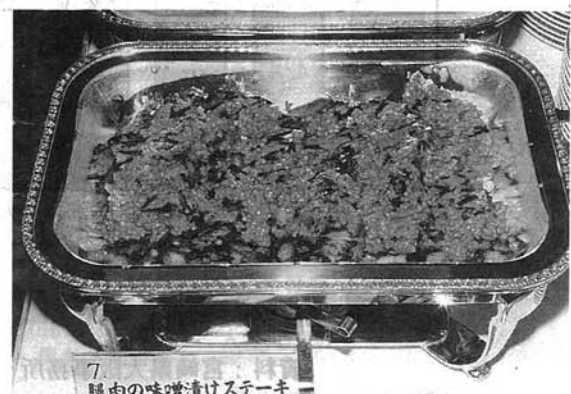
もも肉のもろみ漬けステーキ (4人分)

食 材 名	使 用 料
も も 肉	400g
も ろ み 味 噌	100g
み り ん	50cc
酒	50cc
人 参	1本
小 葱	1/4束
大 根	1/4本
胡 瓜	1本

に12時間程漬け込む。

3. 牛肉のもろみ味噌を取り除き、網焼きする。

4. 器に3の肉と、もろみ味噌を取り除いた野菜を盛り付け、細かく切った小葱を飾る。



7. 腿肉の味噌漬けステーキ

(作り方)

1. もろみ味噌にみりんと酒を加え、混ぜのばす。

2. 牛肉を一口大に切り、人参・大根・胡瓜を4cmの拍子切り、一緒に1のもろみ味噌

〇〇〇〇〇〇〇〇〇 宮崎牛指定店紹介 〇〇〇〇〇〇〇〇〇 南海観光グループ

住所：南海グリル本店

大阪府堺市車之町西2-1-30

TEL：0722-22-0121

社長：西浦 博章

南海観光グループは、関西地区はもちろん日本でも有名な焼肉を中心にしたレストラン経営の会社です。

西浦社長は“私はやるからには何でも日本一を目指しています。「宮崎牛」の取扱いを決めたときから「宮崎牛」を日本一にするため最大限の努力をしてきたつもりです。宮崎の方々も私を信頼して「宮崎牛」を安定的に供給して下さい”と話しています。

大阪に行かれた折には是非寄って「宮崎牛」を御賞味下さい。

南海観光グループ

羽衣 天兆閣（宴会、結婚式場）	☎0722-62-0010
南海グリル 中店（鉄板焼、しゃぶしゃぶ）	☎0722-22-0128
シャトー南海（和食・洋食・鉄板焼、宴会場）	☎0722-29-1500
廣東料理 西園（中華料理）	☎0722-27-6100
炭火焼懐石 彩（特撰黒和牛炭火焼）	☎0722-22-0122

ボビア南海

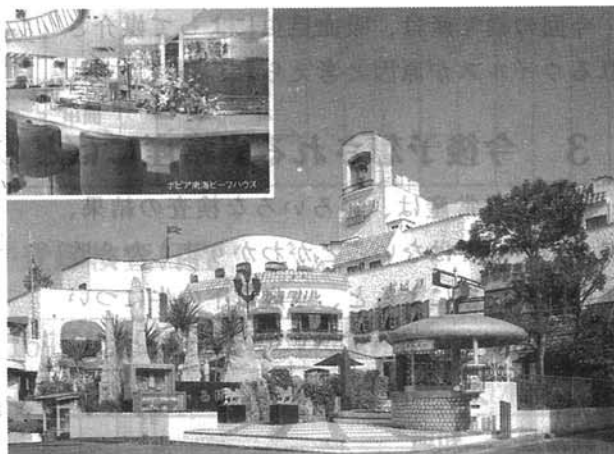
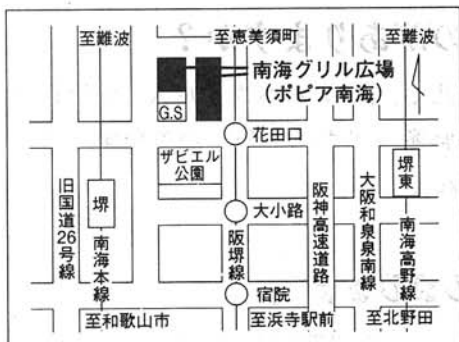
ボビア 1 F（宮崎牛販売、ビーフハウス）	☎0722-29-0001
さくら 2・3 F（イベントホール）	☎0722-22-0131

キリンプラザ大阪

南海グリル心斎橋店 B 1（鉄板焼）	☎06-211-3535
3 F（レストラン）	☎06-211-3536

南海グリル 羽衣店（鉄板焼）	☎0722-61-5252
アレーゼ南海オート（イタリアの名車 アルファロメオ）	☎0722-32-5511
サンシーカージャパン（英国製クルーザー）	☎0722-70-3338

南海グリル本店 〒590 大阪府堺市車之町西2丁目1-30 ☎0722-22-0121



◎ おたずねします ◎

1 最近、県内で発生している牛の異常産について教えてください。

〔発生状況〕

11月から北・西諸県地域を中心に発生がみられ、12月に最も多発しました。

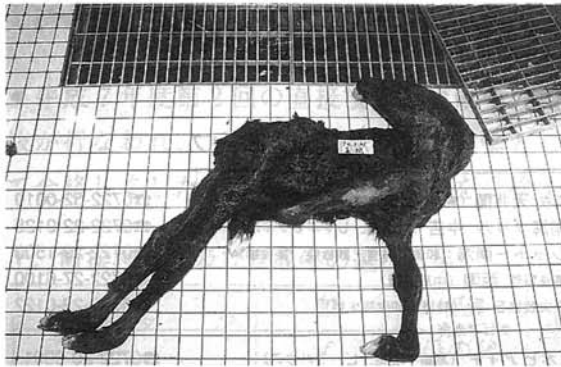
他の地域でも発生が見られますが、発生時期は北・西諸県地域に比較して遅れている傾向があり、漸次北上している状況にあります。

また、肉用牛と乳用牛での発生率に差はなく、産歴にも関係なく発生しています。

〔特徴的所見〕

生まれた子牛は、頸や背骨が曲がっていたり、前肢、後肢が屈曲しているのが特徴です。このため、起立することができなかったり、自力での哺乳が困難だったりします。

解剖してみると頸椎の湾曲や脊椎の湾曲がみられます。また、脳の一部欠損等の異常も認められました。



異常子牛の後肢の伸展と頸部の屈曲

〔ウイルス抗体検査成績〕

家畜保健衛生所では県内の畜産農家に50頭のおとり牛を依頼して各種病気の抗体検査を実施しております。今回、「アイノウイルス」について抗体の陽転が認められました。

都城家畜保健衛生所管内

8月下旬～9月下旬 100%陽転

宮崎家畜保健衛生所管内

9月下旬 62.5%陽転

延岡家畜保健衛生所管内

陽転なし

その他のアカバネ病、チュウザン病、イバラキ病等の抗体の動きはありませんでした。

これらの成績より、今回の異常産は「アイノウイルス」がかなりの頻度で関与しているものと思われます。

また、異常子牛と種雄牛との関係についても調査しましたが、関係は認められませんでした。

2 どのような対策をすればよいのですか？

今回の異常産は、吸血昆虫によって媒介されるウイルスが原因と考えられ、現時点では

吸血昆虫の駆除や消毒が有効と思われます。

3 今後予想される異常産にはどのようなものがありますか？

今回の異常産は、いろいろな検査の結果、アカバネ病ではないことがわかりました。昨年の検査成績によると、4歳以下の牛については、「アカバネウイルス」の抗体をもってい

る比率が低く、「アカバネウイルス」が流行すれば、異常産（アカバネ病）が多発することが予測されます。

アカバネ病ワクチン接種を徹底しましょう

*異常産ミニ知識

異常産を起こすウイルスはいろいろあります。

ウイルス： アカバネウイルス、チュウザンウイルス、アイノウイルス（不明な点も多い）、牛伝染性鼻気管炎ウイルス、BVD-MDウイルス（ウイルス性下痢・粘膜病）、パラインフルエンザなどがあります。

アカバネ病： 本県では昭和47年8月から48年5月にかけて4,359頭に発生が見られました。その後、数年周期で小流行を繰り返しています。現在、抗体保有率が低いとため流行が懸念されています。流産、早産、死産、体型異常子牛を分娩します。ワクチンが開発されており、ワクチン接種で予防できます。

チュウザン病： 原因はチュウザンウイルスで、本県では、昭和61年秋から62年春にかけて206頭の発生が見られました。それ以降、本県での流行はありません。症状は、虚弱、起立不能、盲目、神経症状が見られます。ワクチンが開発されており、ワクチン接種で予防できます。

アイノウイルスが： 1964年、長崎県愛野町で、コガタイエカ（コガタアカイエカ）から分離された関与した異常産ウイルスで、このウイルスが関与したと思われる異常産の報告があります。本県では昭和58年に抗体の動きが見られ、昭和59年にアイノウイルスが関与していると思われる症例が1頭報告されています。

（現在、アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス、3種の混合不活化ワクチンが開発され、近い将来商品化される予定です。）

子牛セリ市開設日程

[illegible]

黒毛和種成雌牛登録検査日程

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
五 月	西 諸 県										都 城										第31回支部審査委員 認定講習会										
	えびの市	小林	憲法記念日	国民の休日	こどもの日	振替休日	西小林	須木	高原										姫城・五十市・庄内	志和池・山田			祝吉・沖水・西岳					梅北・安久・三股	高城・山之口	高崎	
日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
六 月	児 湯										宮 崎				高千穂				南 阿												
	尾鈴・寺迫	児湯	銘柄牛枝共・高崎工場	直検牛購買	西都				宮崎	佐土原	清武	田野						日之影・岩戸	高千穂・五ヶ瀬	田原・上野					南郷・日南	串間地区					

宮崎県における肉用子牛価格（和牛）

月	日	市場	雌 子 牛		雌 子 牛		計（平均）		前 回 対比%	前年同期（計）		前 年 対比%
			頭数	価格（円）	頭数	価格（円）	頭数	価格（円）		頭数	価格（円）	
2	13-16	都 城	846	372,967	937	454,247	1,783	415,681	104.9%	1,792	394,081	105.5%
	17-18	南那珂	408	403,725	526	464,489	934	437,945	106.2%	962	427,096	102.5%
	21-23	小 林	523	378,776	627	463,756	1,150	425,109	106.9%	1,148	410,860	103.5%

一 服 放 談

一期待はづれー

戦後食料難の頃、ある男が食糧買出しに、出かけ遂に日没となり、田舎の一軒家に一夜の宿を御願したそうだ。ところがその家は若い女性の一人住まいであったが、彼女は、もう大分遅い時刻でもあり、お気の毒だからと言って泊めてくれることになったそうだ。男は床についても次ら次へと考えが湧いてきて、——彼女は今一人で、僕のことを考えて眠れないのでは——などと助平空想が湧いて来てなかなか眠れない。

そのとき急に襖（ふすま）ごしに、「ごめんなさい、お寂しくありませんか」と彼女が呼

んだので、やっぱり俺の憶測どおりだと、ドキドキわくわくして、「ハァー一人では寂しいものですね」と謎をかけたなら彼女は「よかったわァ、まだお眠りでなくて、只今もう一人泊めてくれという方が見えましたので是非同じ部屋に」と言って髭面者（ひげもじゃ）の男をつれて来た。

びっくり仰天、長くしていた鼻の下も忽ちにしてくずれ去り、真からの期待はづれに、肩の力も抜け欲も張りも一瞬にして失った一夜だったそうだ。

（こって牛）

（訂正とお詫び）

前号（No.13）において誤りがありましたので、下記のとおり訂正致します。

大変ご迷惑をお掛けしました。

1. 表紙において

種雑牛 → 種雄牛

2. 14ページにおいて

図2を右の図へ訂正

〔図2〕

